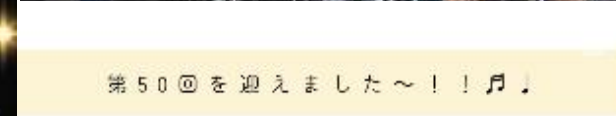


# 2025年度事業報告書サマリー

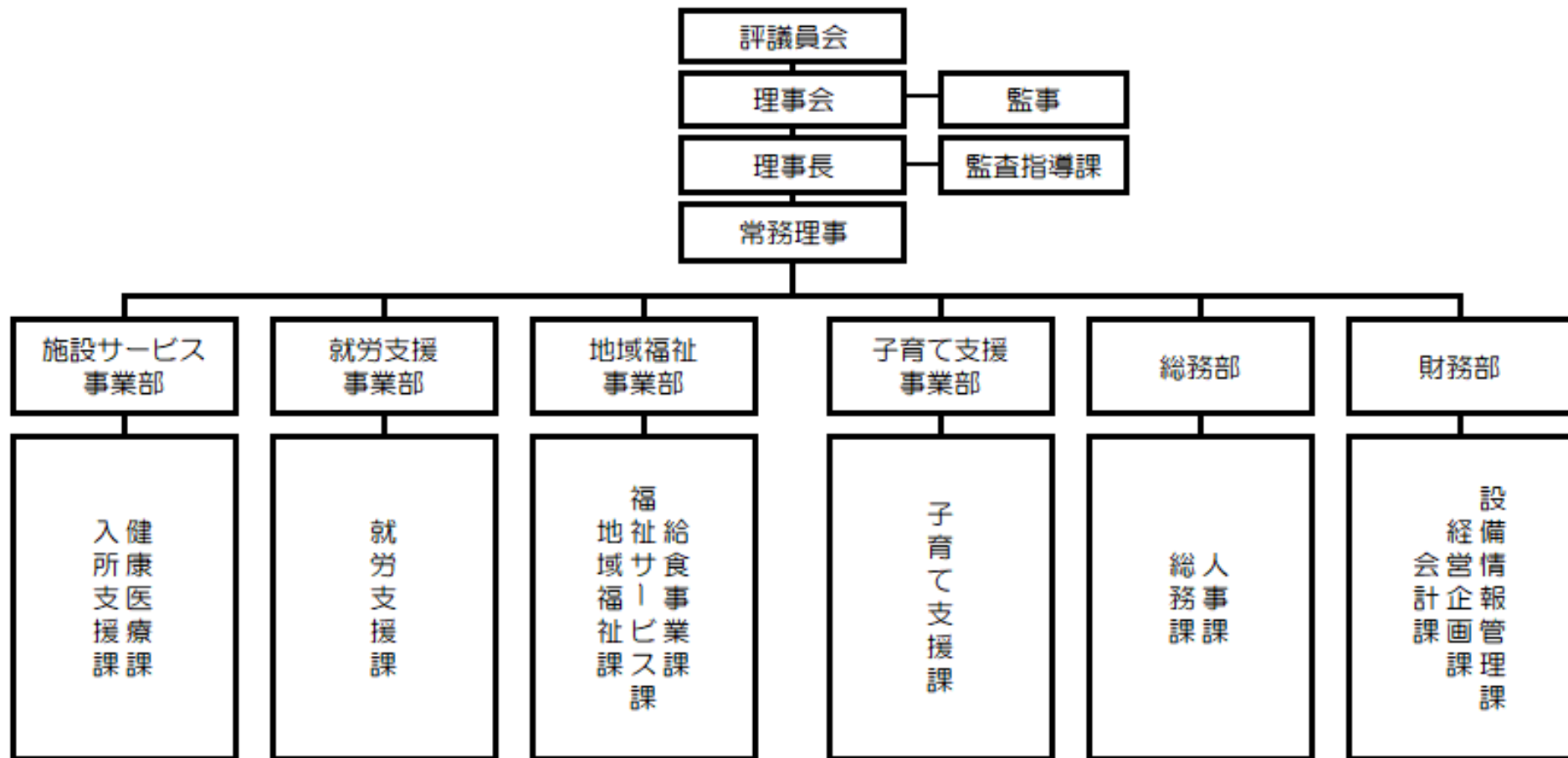


# トピックス

- 1.事業
- 2.第8期中期経営計画
- 3.ISO品質目標
- 4.委員会活動
- 5.プロジェクト活動
- 6.職員状況
- 7.施設整備に関する件
- 8.人材育成
- 9.広報に関する件
- 10.地域における公益的な取組
- 11.リスクマネジメント関係
- 12.その他特記事項
- 13.財政状態
- 14.社会福祉充実残額

# 1-1.事業：組織体制

6部13課の組織体制で事業を運営しました。



# 1-2.事業：事業一覧

事業報告書P.1～4

下記の表一覧のとおり、新規事業・廃止事業を含む263事業を運営しました。

| 定款に定められた事業名                  | 事業数 | 定款に定められた事業名              | 事業数 |
|------------------------------|-----|--------------------------|-----|
| 公益：奨学金貸与事業                   | 1   | 公益：地域包括支援センター            | 6   |
| 一種：障害者支援施設                   | 16  | 公益：福祉用具貸与事業、販売、予防貸与、予防販売 | 8   |
| 一種：救護施設                      | 3   | 公益：生活困窮者自立相談支援事業         | 2   |
| 一種：特別養護老人ホーム                 | 9   | 公益：生活困窮者就労訓練事業           | 19  |
| 一種：軽費老人ホーム                   | 1   | 公益：生活困窮者等一時居住支援事業        | 1   |
| 二種：障害福祉サービス事業                | 32  | 公益：住宅確保要配慮者居住支援事業        | 1   |
| 二種：老人短期入所事業                  | 8   | 公益：心身障害者訓練研修事業（研修センター）   | 1   |
| 二種：無料又は低額介護老人保健施設            | 2   | 公益：介護員養成研修事業（研修センター）     | 1   |
| 老人短期入所事業（短期入所療養介護事業）         | 1   | 収益：物品販売業                 | 1   |
| 公益：日中一時支援事業                  | 7   | 二種：幼保連携型認定こども園           | 15  |
| 公益：生活援助員派遣事業                 | 1   | 二種：保育所                   | 1   |
| 浜松市在宅重度身体障害者社会福祉施設利用入浴サービス事業 | 1   | 二種：放課後児童健全育成事業           | 5   |
| 公益：診療所                       | 3   | 二種：一時預かり事業               | 30  |
| 二種：無料又は低額診療事業                | 2   | 二種：乳児等通園支援事業             | 2   |
| 二種：相談支援事業                    | 17  | 二種：障害児通所支援事業             | 6   |
| 二種：移動支援事業                    | 2   | 浜松市発達支援広場事業              | 1   |
| 二種：老人居宅介護等事業                 | 5   | 二種：地域子育て支援拠点事業           | 10  |
| 二種：老人デイサービス事業（共生型含む）         | 11  | 浜松市親子ひろば事業               | 5   |
| 精神相談支援事業所                    | 1   | 休日保育                     | 1   |
| 浜松市在宅重度身体障害者移動入浴サービス事業       | 1   | 二種：病児保育事業                | 3   |
| 富士宮市身体障害者訪問入浴サービス事業          | 1   | 掛川市病後児保育事業               | 3   |
| 公益：居宅介護支援事業                  | 9   | 公益：子育て世帯訪問支援事業           | 1   |
| 公益：訪問入浴介護事業                  | 2   | 公益：事業所内保育所の受託事業          | 2   |
| 公益：訪問看護事業                    | 1   | 公益：水道事業                  | 1   |
| 2025年度事業数合計                  |     |                          | 263 |

# 1-3.事業：新規事業

事業報告書P.118、187

| 事業部      | 内容                                               |
|----------|--------------------------------------------------|
| 地域福祉事業部  | やまびこケアサポートセンター（居宅介護支援事業）の開設                      |
| 子育て支援事業部 | たんぽぽ広場（浜松市発達支援広場事業）の受託                           |
| 子育て支援事業部 | 地域子育て支援センターにじいろ（地域子育て支援拠点事業）にて出張ひろば事業の受託         |
| 子育て支援事業部 | 子育てセンターきぶね、子育てセンターかきのみにて乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の実施 |

## やまびこケアサポートセンター



人口減少とともに地域資源も縮小する天竜区において、地域との関わりを深め、細やかにニーズに対応し、必要とされる介護サービスに繋がられるよう、2025年4月に開設しました。

## 地域子育て支援センターにじいろ出張ひろば



親子が気軽に集い交流できる場として、袋井市内4会場を回り、出張ひろば『にじのたね』を開催しました。「おはなしひろば」や「ベビーマッサージ」等の活動を提供しました。

# 1-4.事業：廃止事業

## （天竜病院ひまわり保育園の閉園）

平成30年4月に独立行政法人国立病院機構天竜病院が運営する「天竜病院ひまわり保育園」の事業についてプロポーザルを経て受託し、定員35名で開始しました。

令和3年度には天竜厚生会の事業所内保育園「おやまの保育園」閉園に伴い、在園児の受け入れを行う等の取り組みも行いました。

地域のこども園等の整備が進み在園児数の減少傾向が続いたため、契約期間が満了する令和8年3月31日をもって閉園することを天竜病院が決定しました。

令和8年3月2日（月）～3月13日（金）の間、「50年の足跡」と題し開園当初から現在までを写真等で紹介する展示会を行い、今までの歴史を多くの方に振り返っていただく機会とし、50年の歴史に幕を下ろしました。



天竜病院ひまわり保育園外観

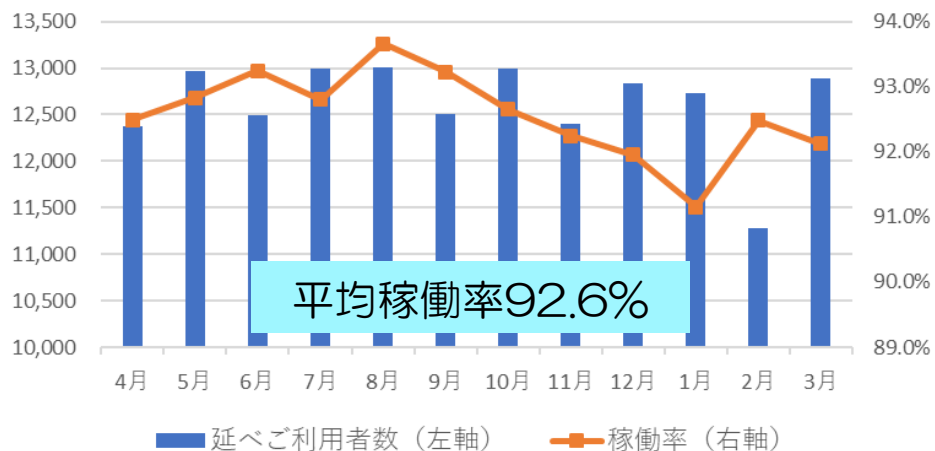


がんばったね会（卒園式）での集合写真

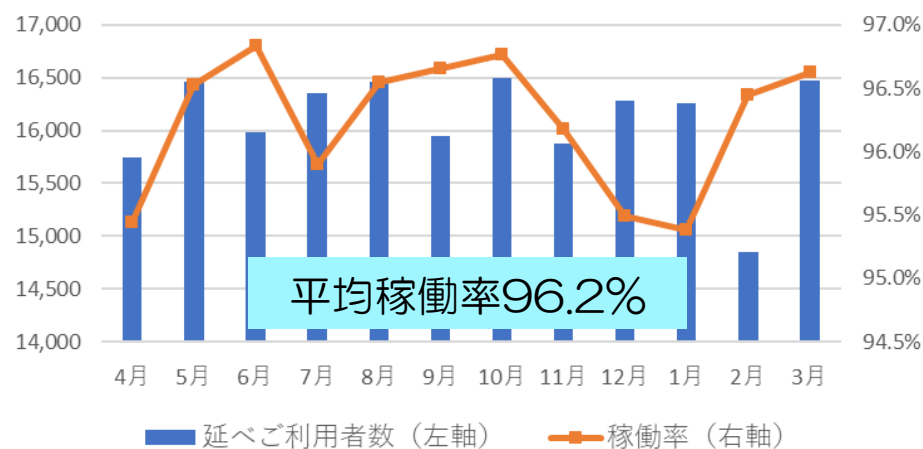
# 1-5.事業：部門別事業の状況

事業報告書P.85~227

障がい施設生活介護（1日あたり定員610名）

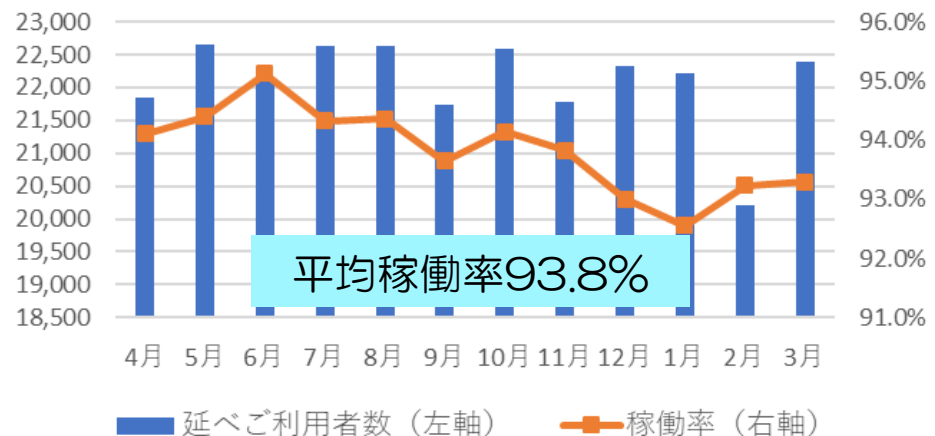


障がい施設入所支援（1日あたり定員550名）

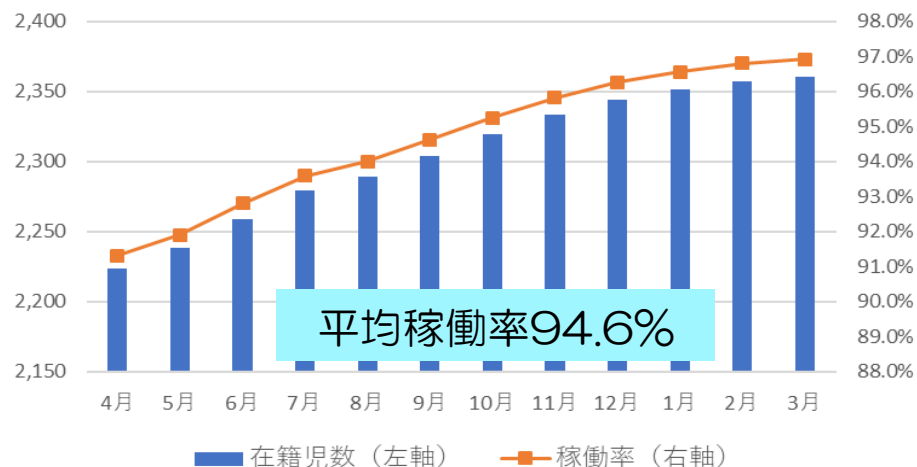


高齢入所施設（1日あたり定員774名）

※翠松苑除く



認定こども園・保育所（定員2,435名）



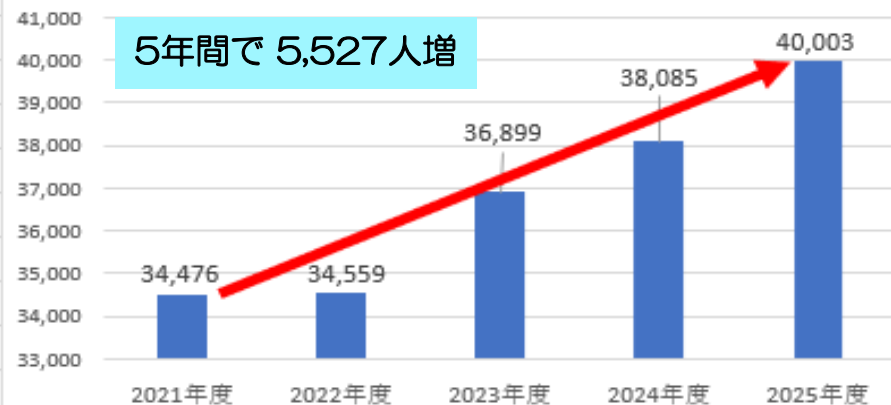
主な事業の稼働率は90.0%以上を維持しています。

# 1-6.事業：部門別事業の状況

事業報告書P.85～227

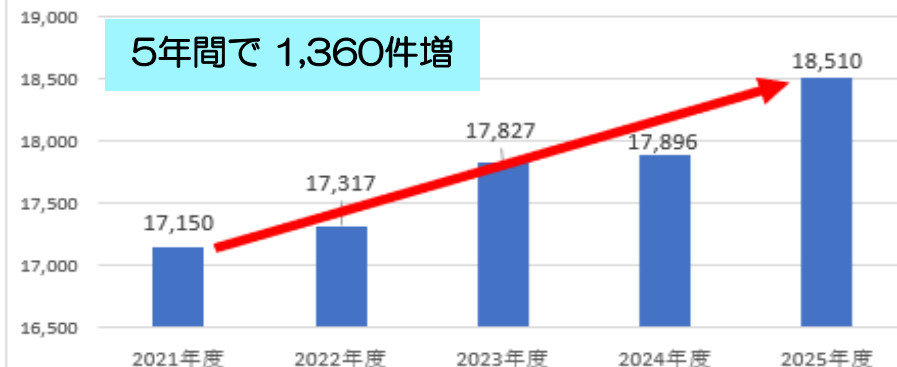
過去5年間（2021-2025）実績が増加し続けている事業を紹介します。

特養・老健 ショート利用者数

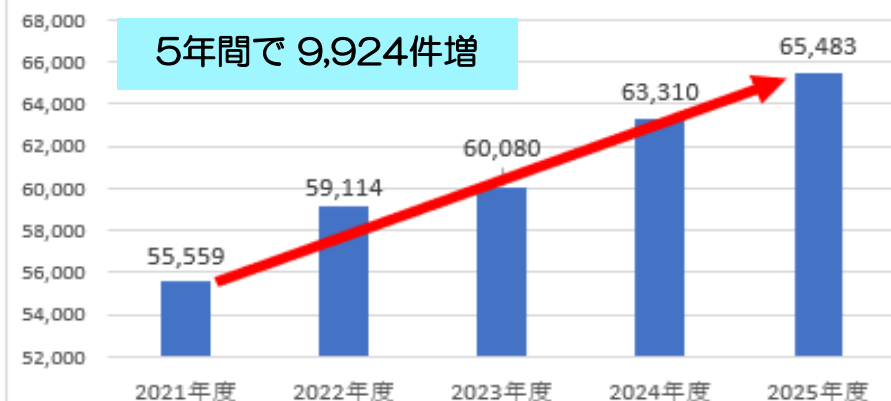


地域包括

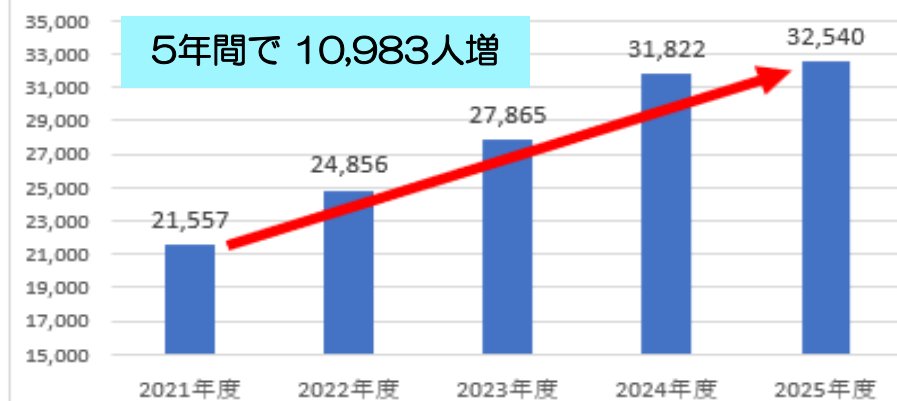
介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント件数



福祉機器センター 貸与数



地域子育て支援センター 利用児童延べ人数



地域の重点ニーズに直結する事業で利用が着実に増加しています。地域の課題を的確に捉え、必要とされる支援を的確に提供してきた結果が実績として表れています。

## 2.第8期中期経営計画

事業報告書P.31～33

支援を必要とされる方々にサービスを迅速かつ継続的に提供し続けるためには、高い理念と強固な経営力を持ち続けることが重要です。第8期中期経営計画（2025～2027年度版）にて3年間の重点施策として下記3点を掲げ取り組みました。

### 重点施策

（１）経営目標と数値目標を明確化し、その達成に努めます。

（２）採用力の強化および定着化：働きやすい環境を整備し、新規・中途採用の推進および定着化を推進させるための支援策を強化します。

（３）支出計画および実現可能な資金計画を明確化し安定経営に努めます。

第8期中期経営計画に基づく2025年度目標に対する達成評価（一部抜粋）

経営目標：事業

| 項目  | 計画  | 結果  | 差 | 評価 |
|-----|-----|-----|---|----|
| 事業数 | 263 | 263 | 0 | 達成 |

経営目標：資金計画（KGI）

| 項目           | 計画          | 結果          | 差額        | 評価 |
|--------------|-------------|-------------|-----------|----|
| K資金残高        | 166億5,000万円 | 167億6,500万円 | 1億1,500万円 | 達成 |
| K資金増減目標（KGI） | 3億6,800万円   | 4億8,300万円   |           | 達成 |

経営目標：改築等計画

| 計画         | 評価 |
|------------|----|
| 赤石寮生活介護棟増設 | 達成 |

強度行動障がいのあるご利用者の受け入れ強化のため、生活介護棟を増設しました。増設部分の生活介護事業は、「個々の糸を紡ぐよう丁寧に形にしていこう」との意図を込め「つむぐ」と命名しました。

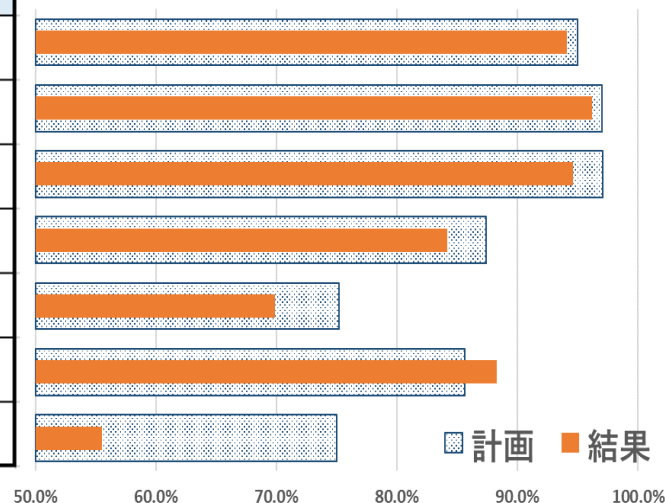


# 2.第8期中期経営計画

事業報告書P.31～33

経営目標：事業各サービス種別数値目標（KPI）

| 項目               | 計画    | 結果    | 差      | 評価  |
|------------------|-------|-------|--------|-----|
| 高齢者：稼働率（入所）      | 95.0% | 94.1% | ▲0.9%  | 未達成 |
| 障がい：稼働率（施設入所支援）  | 97.0% | 96.2% | ▲0.8%  | 未達成 |
| 子育て：稼働率          | 97.1% | 94.6% | ▲2.5%  | 未達成 |
| 就労支援：稼働率（就労継続支援） | 87.4% | 84.2% | ▲3.2%  | 未達成 |
| デイサービス：稼働率       | 75.2% | 69.9% | ▲5.3%  | 未達成 |
| グループホーム：稼働率      | 85.6% | 88.3% | 2.7%   | 達成  |
| 医療：入院率           | 75.0% | 55.5% | ▲19.5% | 未達成 |

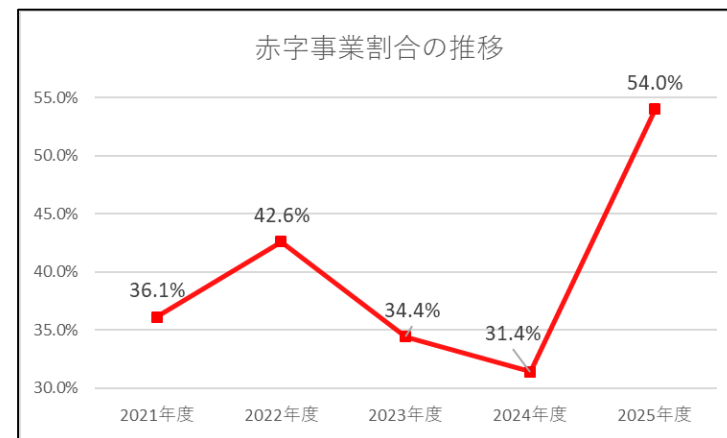
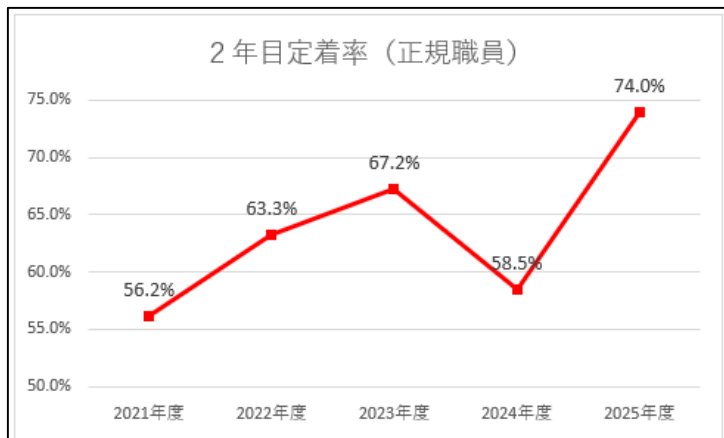


グループホームのみ目標を達成しました。

資金計画：

| 項目       | 計画    | 結果    | 評価  |
|----------|-------|-------|-----|
| 赤字事業割合目標 | 32.0% | 54.0% | 未達成 |

※ 赤字事業割合：黒字事業の黒字額に対する、赤字事業の赤字額の割合



人材戦略（ヒト）：定着率

| 項目           | 計画    | 結果    | 評価 |
|--------------|-------|-------|----|
| 2年目定着率（正規職員） | 60.0% | 74.0% | 達成 |

# 3-1.ISO品質目標

事業報告書P.34～38

ライン部門は、ISO品質方針（天竜厚生会スローガン・行動指針）をふまえ、「顧客満足」や「サービスの質」の向上の観点で、それぞれの事業部が直面する課題について目標を定め、取り組みました。スタッフ部門は、理事長の指示をふまえ目標を定め取り組みました。

| 事業部・部            |           | 2025年度ISO品質目標                                             |
|------------------|-----------|-----------------------------------------------------------|
| ライン部門            | 施設サービス事業部 | 「顧客満足」や「サービスの質向上」を図るため、それぞれの部署における課題の改善に取り組みます。           |
|                  | 就労支援事業部   | 職員が知識・技術を更に磨き、ご利用者一人ひとりの豊かな生活を紡いでいきます。                    |
|                  | 地域福祉事業部   | 知識・技術・接遇マナーの向上に努め、ご利用者をはじめとした関係者の満足度を高めます。                |
|                  | 子育て支援事業部  | 感性豊かで「生きる力」をそなえた子どもを育てるために、職員一人ひとりが教育・保育の知識・技術の習得に取り組みます。 |
| スタッフ部門（総務・財務・監査） |           | 専門性を高めます。                                                 |

ISO品質目標に基づく部門ごとの達成評価（各部署が設定した目標の達成状況）

| 事業部・部                |           | 目標達成（達成率80%以上）<br>の部署の割合 |
|----------------------|-----------|--------------------------|
| ライン部門                | 施設サービス事業部 | 91.6%                    |
|                      | 就労支援事業部   | 100.0%                   |
|                      | 地域福祉事業部   | 87.7%                    |
|                      | 子育て支援事業部  | 96.1%                    |
| スタッフ部門<br>（総務・財務・監査） |           | ※ 33.3%                  |
| 合計                   |           | 88.1%                    |
| （参考）2024年度           |           | 85.7%                    |

※ 職員単位では目標達成率68.0%

全体では88.1%の達成率。

2024年度と比較し、2.4ポイント上昇しました。

2025年度より事業部ごと目標を設定する方式としたため、各事業所の実態に即した目標設定が可能となったことも、達成率上昇のひとつの要因と考えられます。

# 3-2.ISO品質目標

事業報告書P.34～38

## 2025年度年間評価コメント（抜粋）

| 事業部・部                |           | 年間評価コメント                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|----------------------|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ライン部門                | 施設サービス事業部 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護マニュアルを基本的な支援方法と位置づけ、ケアプランに個別の支援を記載することで整理し、各職員が経験則での支援とならないよう意識づけることができました。</li> <li>・生産性向上委員会にて移乗機器の導入に向けた取り組みを進め、機器を選定して次年度予算化を行うことができました。</li> <li>・尊厳の保持について、身体拘束の適正化に向けた取り組みを推進し、記録を根拠として拘束解除につなげることができ、半数以上解除することができました。</li> </ul>                                |
|                      | 就労支援事業部   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者に対する「処遇」について、内部勉強会として実施することができました。その中で各ラインにおいて目標を策定し、主任からの助言を受けつつ取り組むことができました。</li> <li>・ご利用者の様子の記録や会議での意見の集約を図ることにより、ご利用者の想いを計画に反映することができました。</li> </ul>                                                                                                              |
|                      | 地域福祉事業部   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修に参加することで知識を高めるとともに、参加者の様々な意見から、異なる視点での考えを得ることができました。また、個別支援を深めるだけでなく、地域づくりや協議会についての理解を深めることができました。</li> <li>・毎月の職員会議内でピックアップしたご利用者の計画を確認しながら、支援内容等について職員間で協議することができました。</li> </ul>                                                                                       |
|                      | 子育て支援事業部  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども主体の保育について、「大人も子どももわくわくする保育」を当初に掲げ、話し合いを重ねました。子どもの育ちを学ぶうちに、丁寧な観察の再確認と、職員の連携、共有の大切さがワードに上がりました。一人ひとりの気づきと全体への共有が保育の質向上に繋がるため、今後も対話の時間確保が日課となるよう位置づけていきます。</li> <li>・研修会に参加し適切なかわり方や環境について学びを深めることができました。視覚表示や絵カードを用いて個々に対応できるようカンファレンス等で話し合い、工夫して提供することができました。</li> </ul> |
| スタッフ部門<br>(総務・財務・監査) |           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・課全体として、業務に関する資格試験への挑戦や研修への参加により、各々スキル向上を図り、専門知識を深めることができました。</li> <li>・引き継いだ業務について、前任者への確認や自主的な調査を通じて知識・技術を向上させ、WEB広告やInstagram運用、社会保険申請の電子化、補助金申請などの改善も進めることができました。</li> </ul>                                                                                            |

# 4-1.委員会活動

事業報告書P.39、40

下記17の委員会が活動しました。6部13課体制にて事業運営を行っていますが、横断的組織の方が対応しやすい案件の他、法的要求事項を満たすために委員会を設置して活動しました。

| No. | 委員会名              | 責任部署             |
|-----|-------------------|------------------|
| 1   | 天竜厚生会感染対策委員会      | 施設サービス事業部（健康医療課） |
| 2   | 厚生会まつり企画委員会       | 地域福祉事業部（福祉サービス課） |
| 3   | 厚生会まつり実行委員会       | 地域福祉事業部（福祉サービス課） |
| 4   | 喀痰吸引等研修実施委員会      | 地域福祉事業部（福祉サービス課） |
| 5   | 介護福祉士実務者研修検討委員会   | 地域福祉事業部（福祉サービス課） |
| 6   | ISO改善委員会          | 監査指導課            |
| 7   | 天竜厚生会苦情検討委員会      | 監査指導課            |
| 8   | 天竜厚生会リスクマネジメント委員会 | 監査指導課            |
| 9   | 天竜厚生会虐待防止委員会      | 監査指導課            |

| No. | 委員会名                    | 責任部署         |
|-----|-------------------------|--------------|
| 10  | 個人情報管理委員会               | 総務部（総務課）     |
| 11  | あかまつ編集委員会               | 総務部（総務課）     |
| 12  | 衛生委員会                   | 総務部（総務課）     |
| 13  | 人事考課推進委員会               | 総務部（人事課）     |
| 14  | 社会福祉法人天竜厚生会入札等参加資格審査委員会 | 財務部（設備情報管理課） |
| 15  | 防災管理・BCP策定委員会           | 財務部（設備情報管理課） |
| 16  | 交通安全委員会                 | 財務部（設備情報管理課） |
| 17  | 省エネルギー推進委員会             | 財務部（設備情報管理課） |

※黄色塗りつぶしは、法律等に基づく委員会

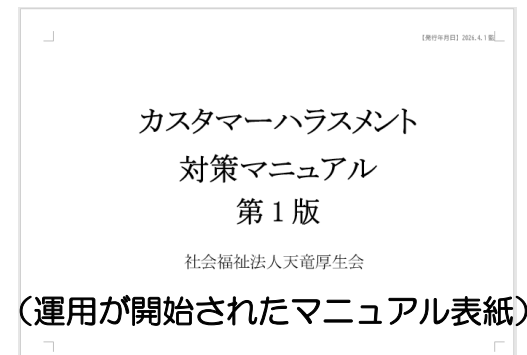
## 4-2.委員会活動：抜粋

事業報告書P.39、40

### 天竜厚生会リスクマネジメント委員会

令和7年6月11日に公布された改正労働施策総合推進法により、カスタマーハラスメント防止措置が事業主の法的義務となりました。これを受け、2025年度リスクマネジメント委員会では「当法人は、カスタマーハラスメント行為を決して許さず、ご利用者及びご家族等と職員が互いに尊重しあえる、安全で快適な環境づくりに取り組む」を基本姿勢に、「カスタマーハラスメント対策マニュアル」の整備に取り組みました。

「カスタマーハラスメント対策マニュアル」は令和8年4月1日より運用が開始されました。



、準優勝おめでとうございます、



セーフティドライバーズコンテスト

天竜地区大会で

当法人の会計課事務員が

準優勝しました～！



### 交通安全委員会

2025年度は「視覚に注意！カメラと目視 両方で後方確認します！」を年間目標に掲げ、交通安全運動の実施（年4回）、交通安全研修会の実施等に取り組みました。

セーフティドライバーズコンテスト天竜地区大会では、当法人職員が見事「準優勝」という結果を残し、法人の安全運転に対する意識向上に繋がる機会となりました。

2025年度の公用車事故は総件数57件と、2024年度より11件減少する結果となりました。

# 5.プロジェクト活動

事業報告書P.41

2025年度は下記2つのプロジェクトを実施しました。

（指示的プロジェクト）

地域共生社会に対応すべく、2018年度の組織再編により、高齢者および障がい者関係事業に関し、施設サービスと在宅サービスに分かれた事業管理体制を採用してきた。各法制度が複雑化する中で、事業運営に必要な情報を正確かつ効率的に集約し、事業部間の連携をさらに推進できる今後の組織体制の在り方を、指示的プロジェクトチームにおいて検討し提案すること。（2024年度マネジメントレビュー指示事項）



現組織の地域共生社会への対応状況を整理し、社会の変化（経営リスク）に対応できる組織のあり方について検討しました。「集約と連携による効率的な組織」をコンセプトに新たな組織を提案し、今後、執行責任者会議内でさらなる検討を進め、組織再編の参考とされることとなりました。



（自発的プロジェクト）

外国籍職員の上限割合の検討および施設現場の課題の抽出。

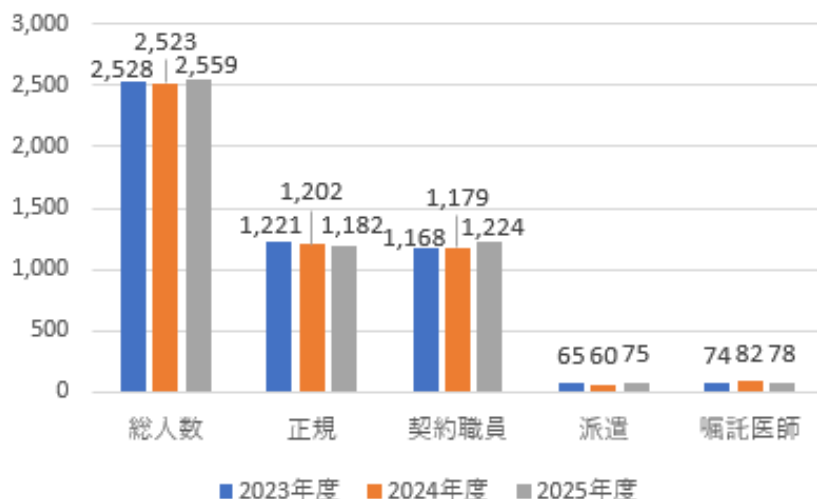
現状課題の把握および改善策の整理・検討を行うとともに、2040年までを見据えた介護職員必要数を明確化した上で正規職員定数における外国籍職員比率を検討しました。提案内容は、引き続き総務部人事課が引継ぎ、さらなる検討を進めたうえで順次実施されることとなりました。



# 6.職員状況：職員数他

事業報告書P.42～44

各年度4月1日時点の職員数推移（人）



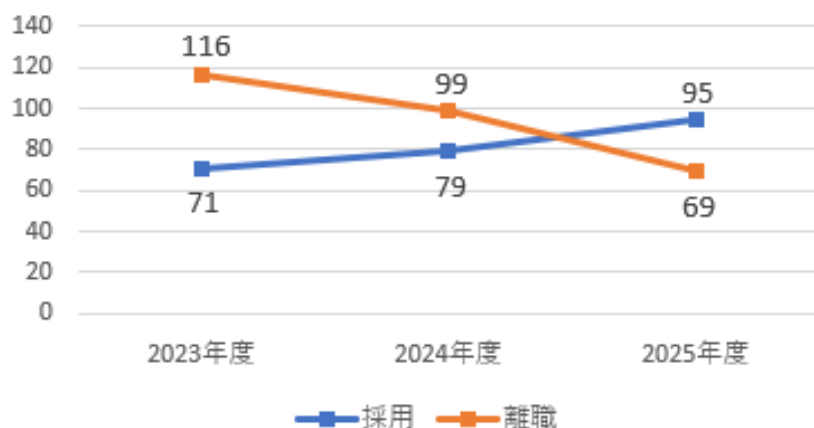
正規職員は減少傾向にあり、契約職員・派遣職員は増加傾向にあります。

2024年と比較すると正規職員は20名減、契約職員は45名増、派遣職員は15名増となりました。

2025年4月1日、これまでで初めて正規職員の人数（1,182名）を契約職員の人数（1,224名）が上回りました。

職員総人数はほぼ横ばいで、法人として安定して職員を確保できている状態にあるといえます。

正規職員 採用・離職の状況（人）



一方、正規職員の採用数は増加、離職数は減少しており、2025年度は離職数を採用数が上回る結果となりました。特に離職数は3年間で約40%減少する結果となりました。

以上、「契約職員の安定確保」「職員総人数の安定」「正規職員採用の増加」「正規職員離職の減少」から、今後、さらなるサービスの質向上が期待される“強い組織基盤”が強化されている状況が読み取れます。

# 7-1.施設整備に関する件

事業報告書P.46～59

## 令和7年度社会福祉施設等施設（設備）整備事業

(単位：円)

| No. | 事業所名（整備内容）                                | 総額          | 自己資金        | 補助額        |
|-----|-------------------------------------------|-------------|-------------|------------|
| 1   | 赤石寮（生活介護事業増築工事）                           | 188,591,859 | 156,291,859 | 32,300,000 |
| 2   | 子育てセンターさやのもり（外壁塗装・防水改修工事）                 | 21,355,400  | 7,495,400   | 13,860,000 |
| 3   | 天竜福祉工場（第2工場連続洗濯機入替工事）                     | 64,350,000  | 64,350,000  | 0          |
| 4   | やまびこ児童クラブトイレ等増築工事                         | 13,629,000  | 13,629,000  | 0          |
| 5   | 百々山（既存2階軒天および換気扇改修工事）                     | 10,978,000  | 10,978,000  | 0          |
| 6   | 天竜福祉工場（フクシクリーニングセンター第2、3工場蒸気ボイラー更新）       | 18,975,000  | 18,975,000  | 0          |
| 7   | しんばらの家（2階空調機更新工事）                         | 50,600,000  | 50,600,000  | 0          |
| 8   | さいわい（3階東側食堂・廊下ファンコイル更新工事）                 | 16,610,000  | 16,610,000  | 0          |
| 9   | 登呂の家（GHP室外機更新工事）                          | 13,200,000  | 13,200,000  | 0          |
| 10  | 百々山（既存棟居室改修工事）                            | 11,957,000  | 11,957,000  | 0          |
| 11  | 百々山・美浜・天竜厚生会研修センター・喫茶ちゃむ（外壁・防水等改修工事）      | 18,324,856  | 18,324,856  | 0          |
| 12  | しらいと（ころやわフロア敷設工事）                         | 17,600,000  | 17,600,000  | 0          |
| 13  | まどか（外壁等改修工事）                              | 18,447,000  | 18,447,000  | 0          |
| 14  | 百々山・赤石寮・浜名・厚生寮・あかいし学園・給食センター（各所LED照明交換工事） | 67,870,000  | 67,870,000  | 0          |
| 15  | さやの家・しんばらの家（電話およびナースコール設備更新工事）            | 56,430,000  | 56,430,000  | 0          |
| 16  | 本部構内（電話交換機更新工事）                           | 16,280,000  | 16,280,000  | 0          |

# 7-2.施設整備に関する件

事業報告書P.46～59

## 助成団体による整備事業

(単位：円)

| No. | 事業所名（整備内容・助成団体名）                              | 総額        | 自己資金    | 助成金       |
|-----|-----------------------------------------------|-----------|---------|-----------|
| 1   | 天竜厚生会いとめ（福祉車両の買い替え）<br>（公益社団法人日本財団福祉車両助成事業）   | 4,300,340 | 980,340 | 3,320,000 |
| 2   | 天竜ワークキャンパス（LEDプリンターの買い替え）<br>（公益財団法人小塩報恩会助成金） | 1,210,000 | 721,000 | 489,000   |



### No.1 天竜厚生会いとめ（福祉車両の買い替え）

15年使用してきた既存車両について、老朽化からエンジン等の不具合が生じる頻度が増えていました。

本助成を受け、車両を買い替えることで、安定したサービスの提供を継続することができるようになるとともに、ご利用者がより快適な環境で送迎サービスを受けることができました。



### No.2 天竜ワークキャンパス（LEDプリンターの買い替え）

年賀状や名刺等の印刷物生産の他、Tシャツプリントの台紙作成等にLEDプリンターを使用しています。既存プリンターについて、老朽化から不良品の発生頻度が増えていました。不良品の発生は、コストや時間の損失だけでなく、作業に従事するご利用者のモチベーション低下にも繋がります。

本助成を受け、LEDプリンターを買い替えることで、安定した品質の商品生産継続、ご利用者の工賃確保とモチベーションの維持を図ることができるようになりました。

# 8-1.人材育成：研修

事業報告書P. 63～68

職員が自身の勤続年数等に合わせてキャリアアップする機会として、各種研修を開催しました。これにより、法人として高いサービスの質を担保しています。法人全体で開催した主な研修は下記のとおりです。

- (1) 職員全体研修
- (2) 新任職員研修【対象者：新卒採用者】
- (3) 新任職員フォローアップ研修【対象者：新卒採用者】
- (4) 新任職員ステップアップ研修【対象者：新卒採用者】
- (5) ジャンプアップ研修【対象者：入社3年目～5年目職員】
- (6) パワーアップ研修【対象者：入社6年目以上の職員】
- (7) 中堅職員フォローアップ研修
- (8) 主任初任者研修【対象者：新任主任】
- (9) 実践リーダー研修【対象者：主任昇格4年目職員】
- (10) 係長初任者研修【対象者：新任係長】
- (11) 新任管理職研修【対象者：新任管理職】
- (12) 管理職研修【対象者：5等級】
- (13) 契約職員研修【対象者：契約職員（週30時間以上契約者）】
- (14) 健康医療課主催職員研修会

## 8-2.人材育成：研修

事業報告書P.63～68



### パワーアップ研修

入社6年目を迎える職員を対象に開催しました。「キャリア」や「論理的思考」について学ぶ中で、「リーダーシップ」や「コミュニケーション」の難しさを体感しました。これからの組織の中でリーダーとして期待される職員が、様々な視点からその役割を理解し、新たな気づきを得て成長する機会となりました。



### 新任職員フォローアップ研修

新卒採用者を対象に、入社後3ヵ月が経過する6月に開催しました。久しぶりに集まった同期。グループワークではお互いの業務の状況を活発に話し合う姿が見られました。法人の働くルールを再確認するとともに、同期と様々な気持ちを共有し、明日へのモチベーションに繋がる機会となりました。

## 8-3.人材育成：研修

事業報告書P.95、188

各部門において必要とされる研修を企画・実施することで職員のレベルアップを図りました。

### ソーシャルワーカー全体研修

参加者：障がい・高齢関係施設のソーシャルワーカー  
意思決定支援に関するガイドラインの趣旨および実践的手法について理解を深めるとともに、グループワークによる事例検討を通じて、多様な価値観や状況に応じた支援の在り方を具体的に学びました。意思決定支援の基本的な考え方から具体的な支援のプロセス、支援者に求められる役割等、実践に活かせる多くの学びがありました。

グループワークの様子



リズム研修の様子



### 天竜厚生会認定こども園・保育所職員実技研修

参加者：子育て関係施設に勤務する職員

当法人が特色として掲げる7つの活動の「リズム」と「太鼓」、また、日々の教育・保育活動で取り組む「カプラ」を題材に実技研修を開催しました。本研修では“伝承”をテーマに、活動の歴史と技術を園長・係長・主任から参加者に伝えます。実技では笑顔があふれ、活動の楽しさを改めて体感する機会となりました。「厚生会の保育の起源を知ることができた」「明日、子どもたちと実践したい」と、職員のモチベーション、技術の向上につながる研修となりました。

# 9.広報に関する件

事業報告書P.70、185

当法人の認知度を向上させる手段として、広告、看板、広報誌あかまつ、ホームページ等を運用しています。さらに多くの方々に当法人の情報を届けるため、その手段を広げています。

## Instagramの運用

2025年度はInstagramにて5つのアカウントの運用を行いました。より多くの方々に当法人の情報が届くよう、タイムリーに情報を発信しています。

2024.4



tenryu\_kohseikai  
天竜厚生会

2024.6



shiraito.tenryu\_kohseikai  
しらいと

2025.4



tenryu\_kohseikai\_kosodate  
子育て支援課  
NEW

2025.4



hamana.tenryu\_kohseikai  
浜名  
NEW

2025.6



tenryu\_kohseikai\_hr  
採用  
NEW

## 法人外発表：抜粋

2025年度は、当法人職員が各地の大会で4つの法人外発表を行いました。当法人の日々の取り組みが、より広く認知される機会となりました。

| No. | 大会名等                  | 題目                       | 発表部署               |
|-----|-----------------------|--------------------------|--------------------|
| 1   | 全国社会福祉法人経営者大会         | 天竜厚生会における管理会計実践事例～財務研修編～ | 経営企画課              |
| 2   | 全国福祉村サミット             | “ひとつの声”を形へ～地域福祉の新たな1ページ～ | 天竜厚生会いともめ・天竜厚生会ささえ |
| 3   | 日本福祉大学提携社会福祉法人実践研修発表会 | 手を取りあって未来へ               | 福祉サービス課            |
| 4   | 静岡県保育研究大会             | 保育における人との関係性の向上          | 子育てセンターにじいろ        |

# 10.地域における公益的な取組（一部抜粋）

事業報告書P.26、27

法律で定められている事業の他に、当法人独自の事業を行い地域に貢献しています。

| No. | 名称                      | 内容                                                       | 実施場所および施設                                 |
|-----|-------------------------|----------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 1   | 収穫した野菜や花の苗、ポケットティッシュの寄贈 | 天竜厚生会アクシア藤枝で収穫したジャガイモやサツマイモ、花の苗、ご利用者が作成したポケットティッシュを寄贈した。 | 近隣の子ども食堂、こども園<br>小・中学校等                   |
| 2   | 地域イベントでの自主生産品製作体験の機会の提供 | 障がいのある方の就労環境への理解促進のため啓発活動を実施した。                          | いきいき健康フェスタ、MEW FES、こころの病気について考えよう（統合失調症編） |
| 3   | 地域の学生等の職業体験の場を提供        | 学生等が保育教諭職への知識や理解を深め、意欲を高めることを目的に、職業体験の機会を提供した。           | 各認定こども園、保育所                               |



（アクシア藤枝）寄贈するサツマイモを収穫する様子



MEW FESの様子



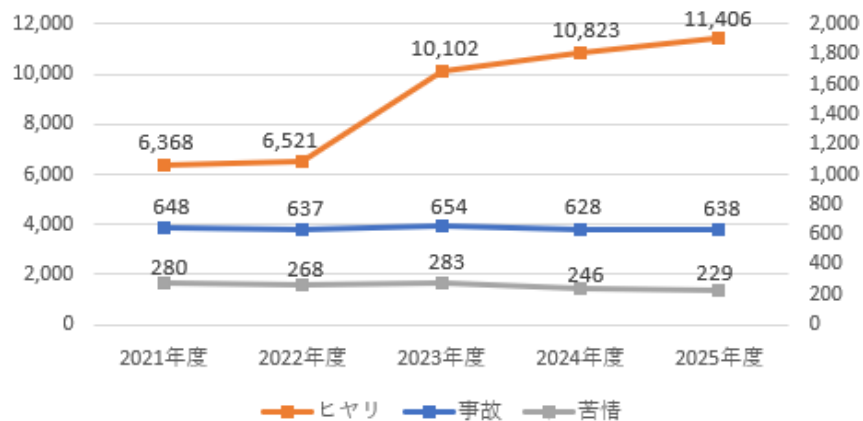
（子育てセンターひだまり）近隣中学校学生が園児と関わる様子

# 11. リスクマネジメント関係：事故・ヒヤリ、苦情、虐待

事業報告書P.72～84

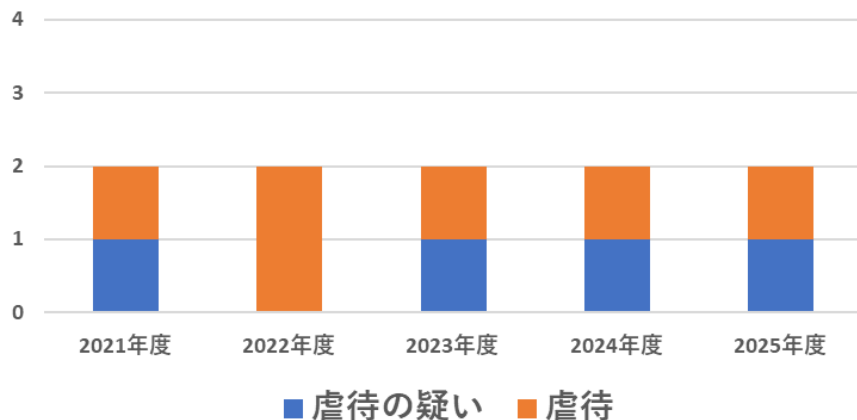
ご利用者の安全と権利を保障し健全な事業活動を推進するために、サービスを提供する事業者としての責任を自覚するとともに、当法人が行う諸活動において被るリスクを明らかにして、予防および被害や損害を最小限に留めるためのリスクマネジメント体制の整備と活動の促進を行っています。

事故・ヒヤリ、苦情件数



2025年度は、事故638件、ヒヤリ11,406件でした。2024年度と比較し、**事故は10件増加、ヒヤリは583件増加**しました。重大事故を防ぐため、各職員が“リスク”を積極的に拾い共有した結果が件数の増加につながったと考えられます。**苦情**は229件と、2024年度より**17件減少**しました。ご利用者にとっての安心感が向上し、サービスの質が安定していることを示しています。

虐待件数



2025年度は虐待1件、虐待の疑い1件でした。虐待については、虐待防止法に基づいて管轄の行政官庁に通報するとともに、当法人の虐待防止マニュアルに沿って真摯に対応しました。

「虐待」および「虐待の疑い」発生件数総数が過去5年間横ばいであることは、一定のリスク管理体制が機能している一方で、虐待リスクが依然として存在していることを示しています。引き続き、研修の充実や組織体制の強化等を実施し、虐待の未然防止と早期対応に努める必要があります。

# 12.その他特記事項

事業報告書P.228～230

## わくわくサマースクールin天竜厚生会の開催

職員の働きやすい職場環境づくりの一環として、放課後児童クラブ等が休みとなるお盆期間に、天竜厚生会職員の子どもを対象として「わくわくサマースクール」を開催しました。美術教師から教わる絵画制作、夏まつり、親の職場体験等、多彩なプログラムを実施し、4日間で53世帯76名、延べ185名の子どもたちが参加しました。



美術教師から教わる絵画制作



親の職場体験



夏まつり

## グリーンラベル・グランプリ2025「モデル賞」受賞（特別養護老人ホームしらいと）

一般財団法人静岡県消防設備協会が主催する「グリーンラベル・グランプリ2025」にて、消防用設備の維持管理で優れた取り組みを行っている事業所に送られる「モデル賞」

（病院・福祉施設部門）を特別養護老人ホームしらいとが受賞しました。



地域一体で取り組む総合防災訓練



受賞の記念写真

# 13-1.財政状態：資金収支計算書概要

| 勘定科目         | 本業 | 金額（円）          |
|--------------|----|----------------|
| 事業活動収入計      |    | 15,426,413,958 |
| 事業活動支出計      |    | 14,401,979,079 |
| ★ 事業活動資金収支差額 |    | 1,024,434,879  |
| 施設整備等収入計     |    | 144,085,385    |
| 施設整備等支出計     |    | 992,822,134    |
| 施設整備等資金収支差額  |    | ▲ 848,736,749  |
| その他の活動収入計    |    | 675,511,814    |
| その他の活動支出計    |    | 981,515,858    |
| その他の活動資金収支差額 |    | ▲ 306,004,044  |
| ★ 当期資金収支差額   |    | ▲ 130,305,914  |
| ★ 当期末支払資金残高  |    | 9,003,652,474  |

- 事業活動資金収支差額が＋10億円であり、当法人の本業により支払資金が増加しました。（2024年度と比較し4億円減少）
- 当期資金収支差額は▲1.3億円でした。
- 当期末支払資金残高（正味の運転資金）は2024年度より1億円減少し、90億円になりました。

# 13-2.財政状態：事業活動計算書概要

| 勘定科目       | 本業           | 金額（円）          |
|------------|--------------|----------------|
| サービス活動収益計  |              | 15,219,934,642 |
| サービス活動費用計  |              | 15,078,986,154 |
|            | ★ サービス活動増減差額 | 140,948,488    |
| サービス活動外収益計 |              | 207,562,610    |
| サービス活動外費用計 |              | 91,296,423     |
|            | サービス活動外増減差額  | 116,266,187    |
|            | 経常増減差額       | 257,214,675    |
| 特別収益計      |              | 146,894,711    |
| 特別費用計      |              | 206,962,922    |
|            | 特別増減差額       | ▲ 60,068,211   |
|            | ★ 当期活動増減差額   | 195,543,164    |
|            | ★ 次期繰越活動増減差額 | 17,617,078,419 |

- サービス活動増減差額は＋1.4億円であり、当法人の本業により利益が出ました。  
（2024年度と比較し6億円減少）
- 当期活動増減差額は＋2億円でした。
- 次期繰越活動増減差額は176億円に増加しました。

# 13-3.財政状態：貸借対照表概要

(単位：億円)

| 項目     | 当年度末  | 増減 (対2024年度) | 項目             | 当年度末  | 増減 (対2024年度) |
|--------|-------|--------------|----------------|-------|--------------|
| 流動資産   | 103.8 | 1.3          | 流動負債           | 19.3  | 2.0          |
| 固定資産   | 250.6 | ▲ 1.6        | 固定負債           | 9.8   | ▲ 1.2        |
|        |       |              | 純資産            | 325.3 | ▲ 1.1        |
|        |       |              | (純資産の内その他の積立金) | 71.5  | 2.1          |
| 資産の部合計 | 354.4 | ▲ 0.3        | 負債及び純資産の部合計    | 354.4 | ▲ 0.3        |

貸借対照表は2026年3月31日現在の財政状態を表しています。

資産の部合計（負債及び純資産の部合計）354億円

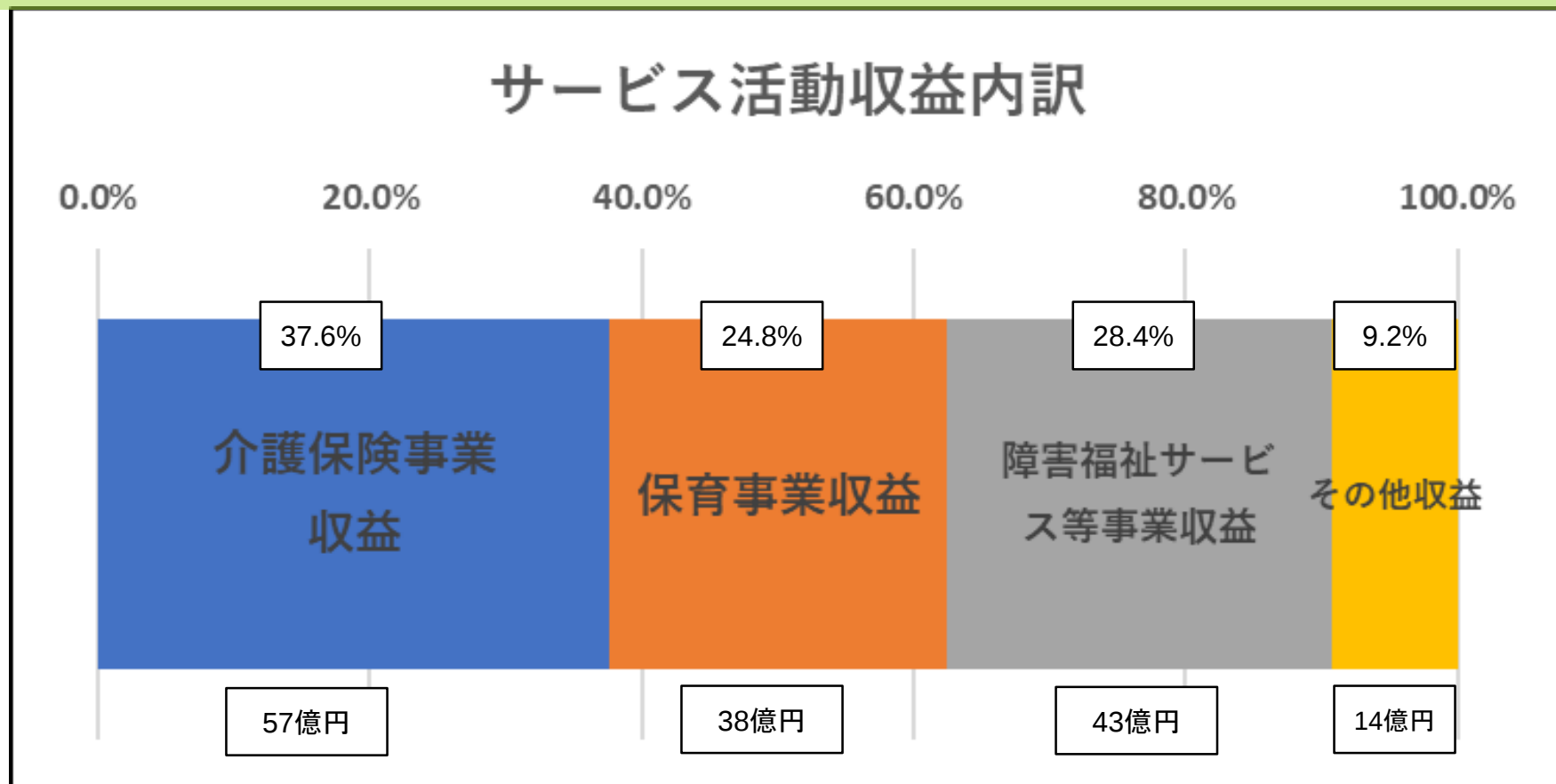
以降括弧内は増減額（億円）と増減の主な理由

流動資産103.8億円（+1.3：現金預金増）、固定資産250.6億円（▲1.6：減価償却による価値減）

流動負債19.3億円（+2.0：事業未払金増）、固定負債9.8億円（▲1.2：設備資金借入金減）

純資産325.3億円（▲1.1：国庫補助金等特別積立金減）、その他の積立金71.5億円（+2.1：積立>取崩）

# 13-4.財政状態：サービス活動収益内訳



主たる事業（介護保険事業収益、保育事業収益、障害福祉サービス等事業収益）が90%を占めており、その他収益を含めたサービス活動収益152億円から1.4億円のサービス活動増減差額（本業の利益）を出しました。

約152億円

本業の利益  
1.4億円

利益は、未来のご利用者のために積み立てます。

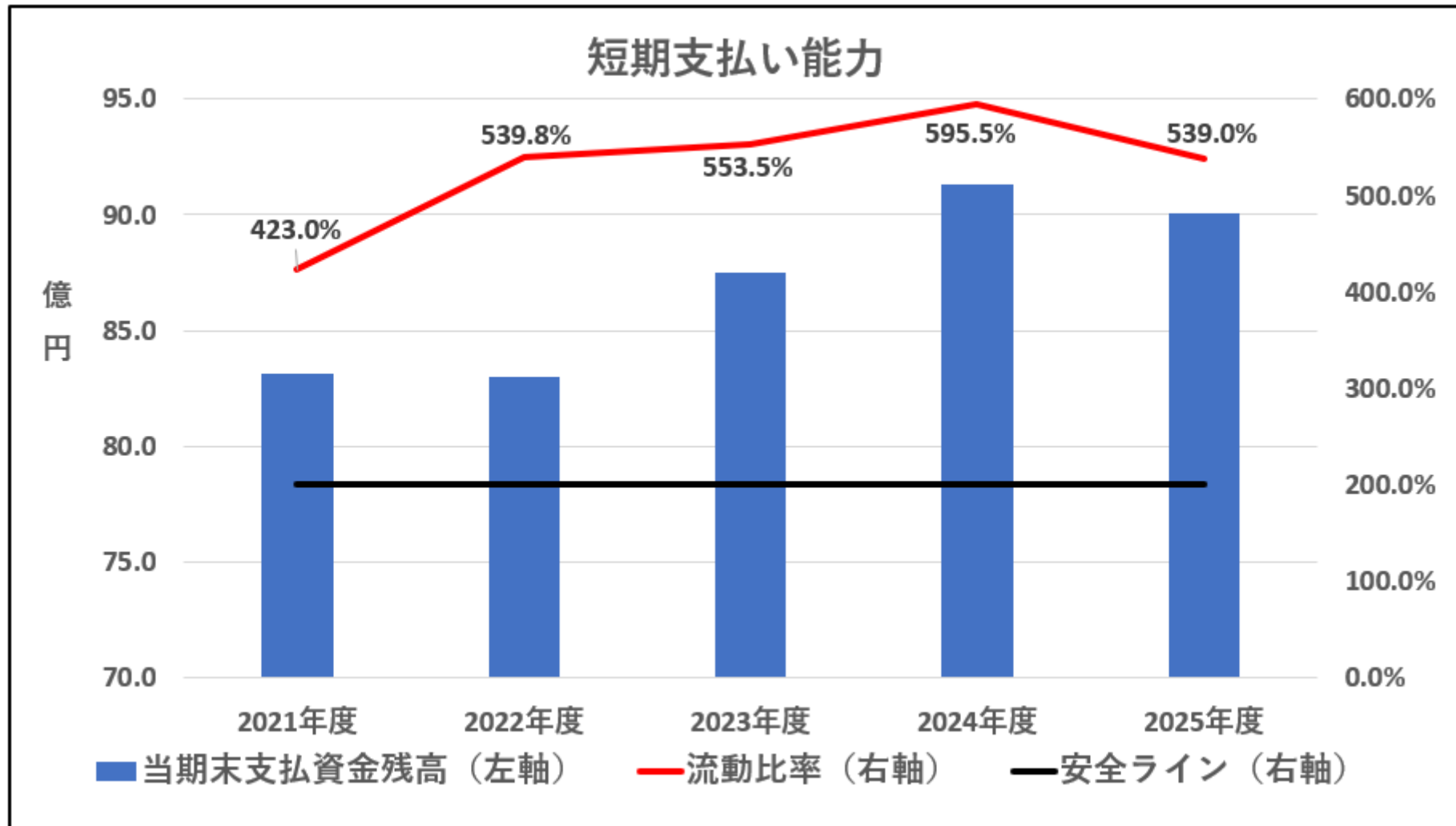
# 13-5.財政状態：その他の積立金内訳

将来の特定の目的の費用または損失に備えるために、目的に応じた積立金を積み立てています。2024年度よりも約2億円の積立金を増やすことができました。

| 内訳           | 金額（単位：円）      | 目的                             |
|--------------|---------------|--------------------------------|
| 人件費積立金       | 178,652,000   | 将来の人件費に備える目的                   |
| 施設設備整備積立金    | 3,617,286,660 | 将来の建物増改築・修繕、<br>備品等購入・修繕に備える目的 |
| 保育所施設設備整備積立金 | 1,823,860,886 | 将来の建物増改築・修繕、<br>備品等購入・修繕に備える目的 |
| 減価償却積立金      | 1,347,910,000 | 将来の建物改築・修繕、備品等購入・<br>修繕に備える目的  |
| 工賃変動積立金      | 42,633,259    | 将来の工賃支払いに備える目的                 |
| 設備等整備積立金     | 138,399,761   | 将来の設備等更新に備える目的                 |
| 合計           | 7,148,742,566 | 2024年度との差額+205,241,286円        |

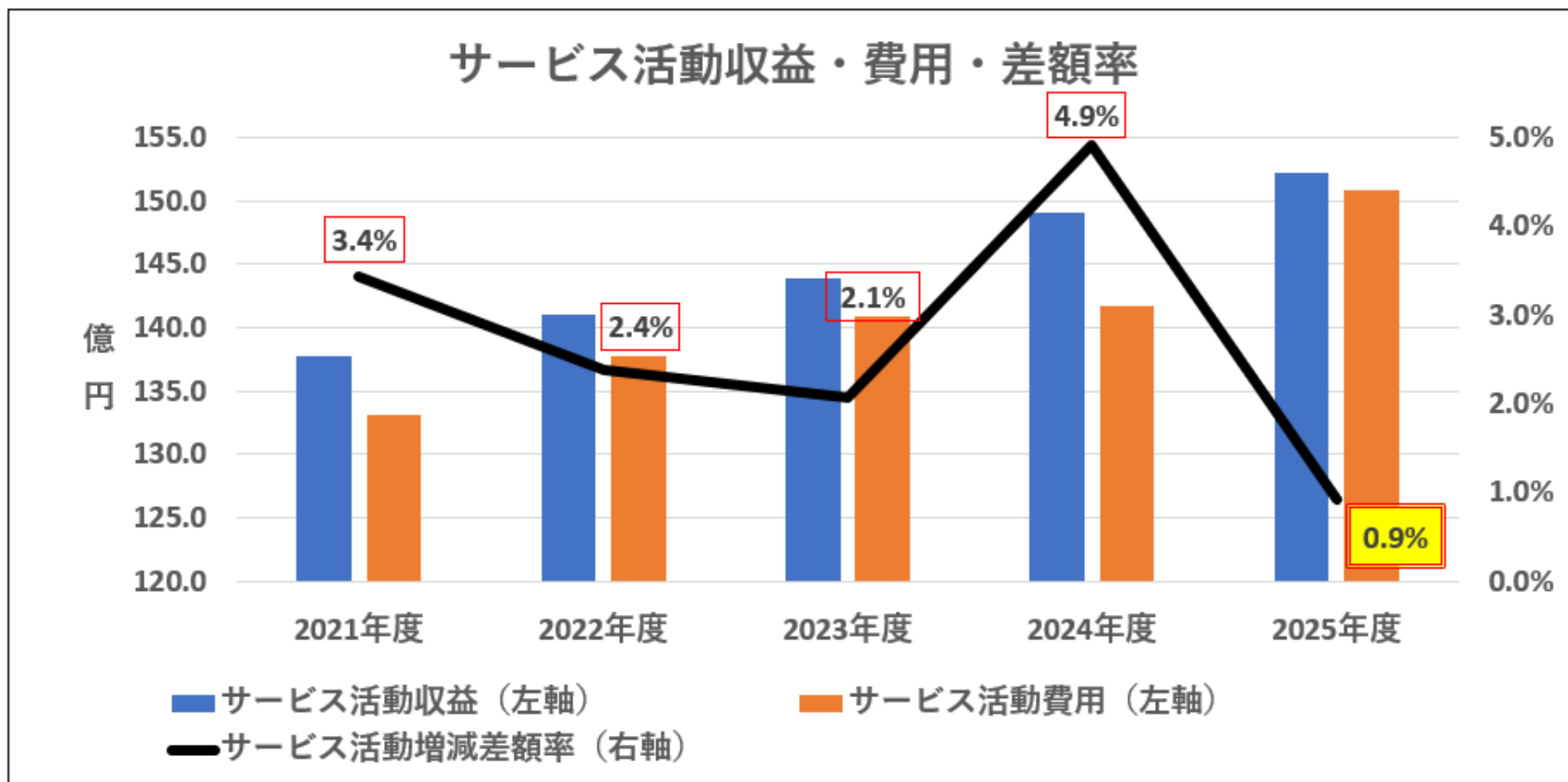
# 13-6.財政状態：短期支払い能力

- 2025年度当期末支払資金残高 90.0億円（2024年度と比較して1.3億円減）
- 2025年度末流動比率 539.0% 2024年度から56.6ポイント下降しましたが、安全ライン（200%）を大きく上回っており短期支払い能力の高さを示しています。



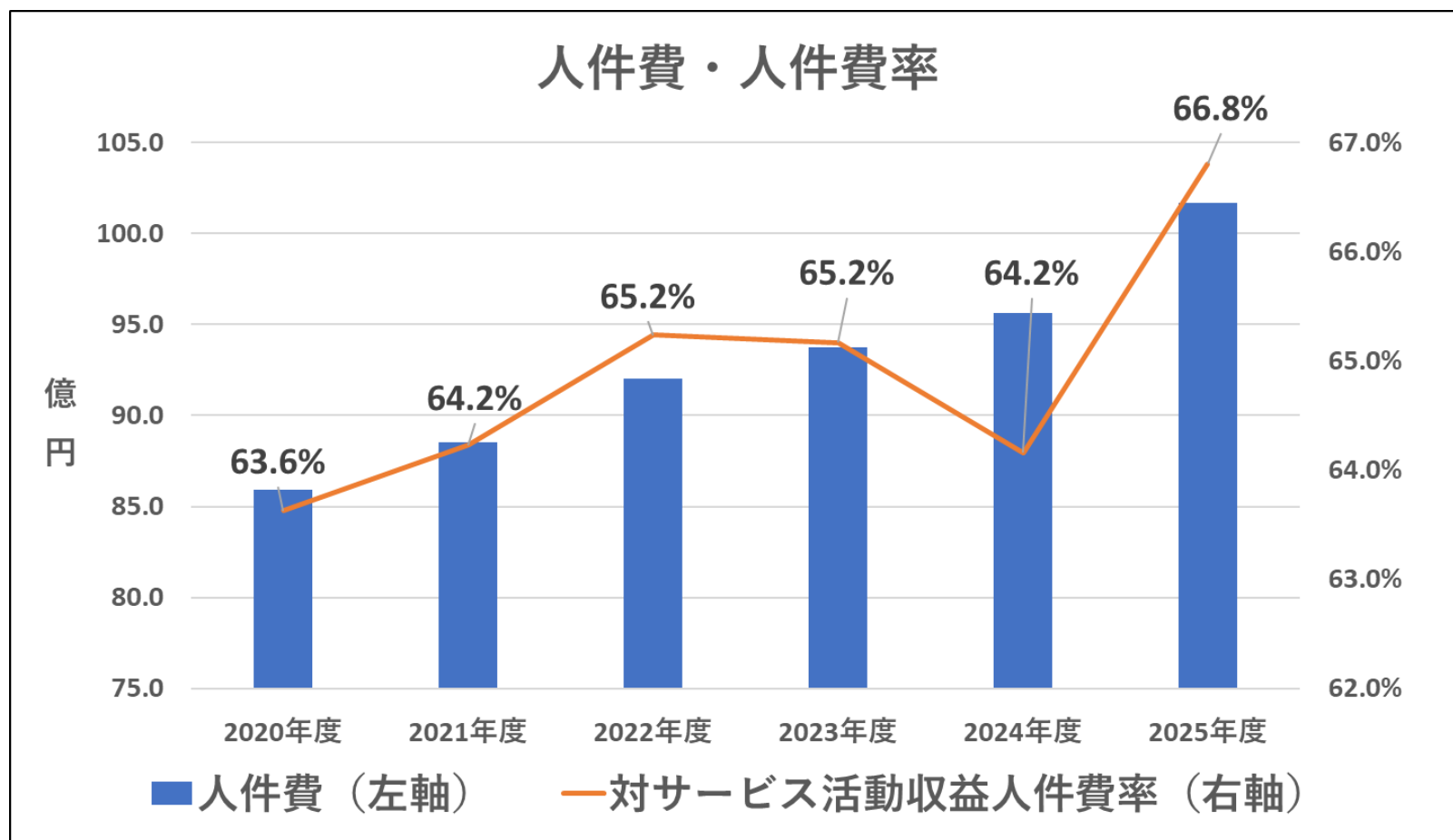
# 13-7.財政状態：サービス活動増減の部経年比較

- 2025年度 サービス活動収益：152億円（2024年度から3億円増）  
サービス活動費用：150億円（2024年度から9億円増）  
サービス活動増減差額：1.4億円（2024年度から約6億円減）
- サービス活動収益・費用ともに過去最高額となりましたが、サービス活動費用の増加が大きく、サービス活動増減差額率は0.9%と2024年度から大きく下降しています。
- サービス活動費用増加の主な理由は、人件費が2024年度から6億円増加し、101億円となった影響が挙げられます。



# 13-8.財政状態：人件費・人件費率

- 2025年度人件費は101億円。2024年度より6億円増えました。
- 対サービス活動収益人件費率は、2024年度より2.6ポイント増加の66.8%でした。サービス活動収益は2.1ポイント増えましたが、それ以上に人件費が6.3ポイント増えたため、対サービス活動収益人件費率が上がりました。



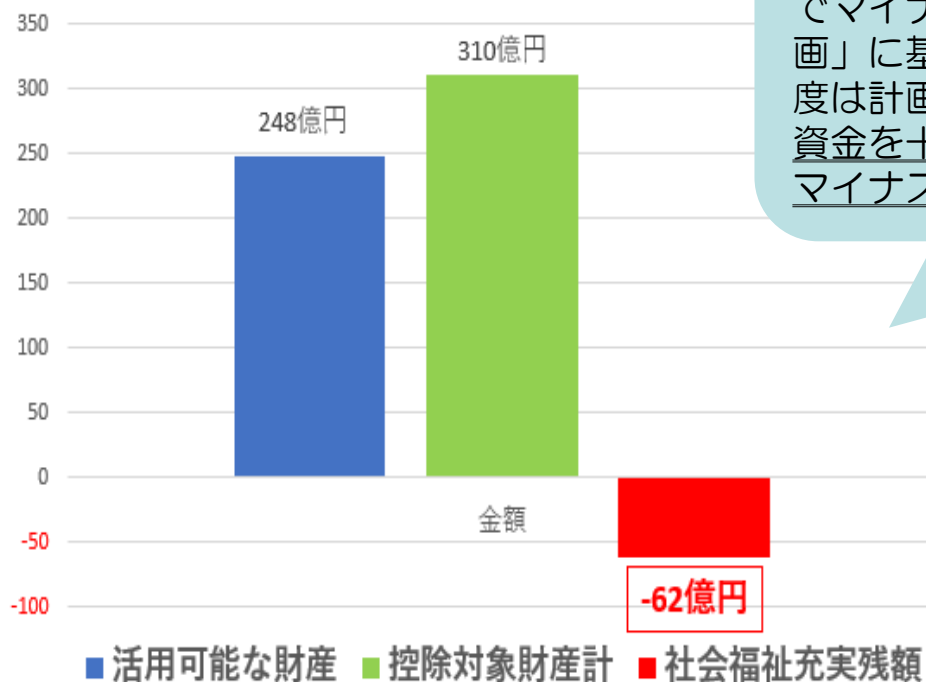
# 14：社会福祉充実残額

●社会福祉法人が保有する財産については、事業継続に必要な財産（控除対象財産）を控除した上で、再投下可能な財産（社会福祉充実残額）を明確化します。社会福祉充実残額が生じた場合、社会福祉充実計画を作成し再投下する必要があります。

●当会の2025年度社会福祉充実残額は▲62億円でした。

●社会福祉充実残額がマイナスでしたので、社会福祉充実計画を作成する必要はありません。

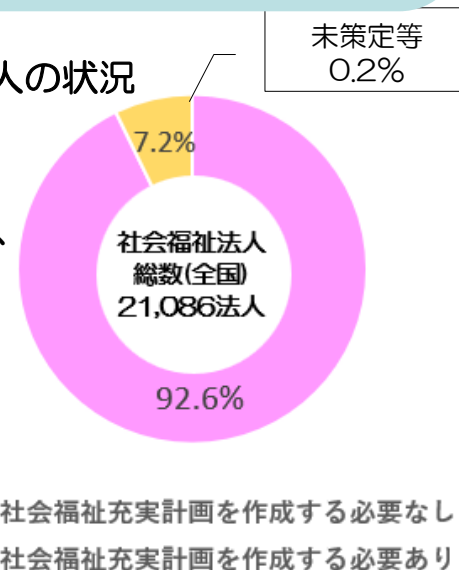
社会福祉充実残額（単位：億円）



社会福祉充実残額は、将来の建替え費用や修繕費、運転資金等を“必要な財産”として広く見込むため、多くの法人でマイナスとなる指標です。当法人は「50年施設整備等計画」に基づき、計画的に資金を維持管理しており、2025年度は計画を超える167億6,500万円を確保しました。必要資金を十分に確保していることから、社会福祉充実残額がマイナスであっても、経営は順調です（スライドP8参照）。

全国社会福祉法人の状況

2024年度社会福祉充実残額が生じ、2025年度社会福祉充実計画を作成した社会福祉法人は全体の7.2%でした。



以上で報告を終わります。